

《担当者名》○松尾淳司 山崎智弘

【概要】

現代医療において、感染症は治療だけでなく、予防にも重点をおいた対策が重要である。そのためには、既存の知識にとらわれない新しい発想の下、感染症を引き起こされる詳細な分子メカニズムを理解し、病原体の弱点を探る必要がある。本講義では、まず 1) 感染とは、および 2) 各種病原体による感染機構、を講義することで病原体の感染メカニズムを理解し、それらを解き明かすための 3) 病原体の感染メカニズムの解析手法について演習形式で学習する。

【学修目標】

- 1) 臨床検査に必要な知識と技術を習得するために、感染症を引き起こす生物の概要について理解する。
- 2) 感染症を引き起こす生物の種類を挙げ、その概要を説明できる。
- 3) 感染現象のメカニズムの概要を説明できる。
- 4) 感染現象の解析法の種類を挙げ、その概要を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	感染症を引き起こす生物	・講義概要 ・感染生物学 キーワード：病原体、感染機構	松尾淳司
2) 13	感染現象のメカニズム	・論文抄読 ・プレゼンテーション キーワード：論文抄読、資料作成、発表	松尾淳司
14) 15	まとめ	・成果発表 ・まとめ キーワード：データ解析、資料作成、発表	松尾淳司

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題レポート 100%

【学修の準備】

各回に記載された用語の意味を事前に調べておくこと。（80分）

授業で配布した資料について理解しておくこと。（80分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP2）臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

（DP6）臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。